

# 六甲カトリック教会 教会報



## 希望の巡礼者として、ともに歩む教会をめざして

主任司祭 英 隆一朗 s. j.



四旬節に入ります。イエスの受難を思いめぐらしながら、キリストの復活に希望をおく時です。春はまた人事異動の季節にもあたります。4月初めに広島教区の教会に異動することになりました。

イエスは「預言者は故郷では歓迎されないものだ」（ルカ 4, 24）と話されました。しかしながら、私は生まれ故郷の神戸に派遣され、皆さんに受け入れられたことに感謝しています。生まれ故郷で働くなぐさめを味わいました。それでも、故郷に長く留まることはゆるされないのでしょうか。別のところに派遣されることとなりました。

3年の働きによって、少しは生まれ故郷に恩返しをする機会をもらったことに感謝です。一番の思い出は、1月17日に神戸で震災記念の追悼の祈りをささげられたことです。犠牲者の方々と心を合わせて祈ることは、生まれ故郷に対する少しばかりの恩返しなのかと思いました。この教会がいつも苦しんでいる人とともに歩む教会でありますように。

六甲教会の印象は、活動が活発で生き生きしているという印象です。とてもよい教会なので、私が去るに当たって、大きな心配はないです。もちろん高齢化や人手不足など、日本の教会が共通にかかえる問題はあります。それでも、今の教会のよさを大切にしてくださるならば、これからも神の恵みの場であり続けることでしょう。

いくつかの具体的課題を記しておくならば、以下の点があります。

高齢化に伴い、教会の活動をなるべく身の丈にあったものにしていくこと。大きなイベントを行うよりも、小さな集まりを通して、互いのかかわりを深めていくことだと思います。今までは、イベントの担い手は地区会中心でした。人手不足のため、従来の活動はできなくなりました。地区会のあり方を見直し、教会全体の活動をよりスリム化することは必要でしょう。

昨年夏には、シノドスの集いを教会で行い、これからのともに歩む教会のイメージをわかち合いました。印象的なのは、教会は活動を主体にするよりも、ほっとくつろげる場であってほしいという意見でした。小さな規模でよいので、神と交わる祈りの場や、信徒同士が集える場が増えるとうよいと思います。

現代の大事な意識として、ハラスメントの被害者に対するケアがとても大切になってきました。芸能界だけでなく、教会の中にもハラスメントがあることがだんだんと明らかになってきました。イエズス会としても、大阪高松大司教区としても、弱い者が犠牲になることがないセーフガードの文化を築いていくように促されています。六甲教会でも足並みをそろえて、ハラスメント対応委員会を設置し、すでに活動を始めています。この教会に通うすべての人が、安心して祈り、交わりをもてることを願っています。3月には関連する研修会を開く予定です。

新しい主任司祭とともに、ともに歩むシノドス的な教会でありつづけてください。一つに共同体として、希望の巡礼者として歩み続けられるように祈っています。

# 2024年度 第6回地区会議事録(要約)

日 時：2025年2月9日 11:30～13:00

場 所：第1・2会議室

出席者：英主任司祭、堤小教区評議会議長、地区役員

## 1. 英主任司祭挨拶

2025年度は、2024年度目標の「身の丈に合った活動と交流、大きなイベントから小さな集い・小さな試み」（なるべく人手を導入しないで地区会の負担を少なくする）という方向性に合った地区会の在り方を工夫する1年にして頂きたい。

## 2. 新年会報告 1/21(日) 灘西・中央

出席者は約100名、イグナチオホールが満員となった。例年より男性の参加者が多かったと思う。お寿司、サンドイッチ、ケーキ等が提供された。地区一斉メールで開催の協力を呼びかけたところ、1名の新しい方の参加があった。（詳細は教会報2月号参照）

## 3. 教会行事予定表・連絡網配布

- ・3/1(土) 各地区ブロック袋詰開始
- ・配布日程 3/15(土) 3/16(日) 3/22(土) 3/23(日) (手順は別途配布済)

## 4. 復活のお祝い会 4/20(日)10時ミサ後

地区役員全体で準備と開催。

## 5. 役員交替

2月末までに新役員の電話番号・メールアドレスを井川まで連絡のこと。

(2025年度役員名簿は別途配布済)

## 6. イグナチオ喫茶当番(第1日曜日)

- ・3/2 東灘北1
- ・4/6 灘北1・北・三田と灘北2・阪神
- ・5/4 灘西・中央
- ・6/1 灘南・神戸西

この日の新旧主任司祭歓送迎会式次第は井川と堤小教区評議会議長が決定する。

## 7. 協議事項

### 1) 地区会再編について

・地区会として何を行うのか、地区内の信徒間の交流の場なのか、教会行事全般を担い続けるのか、それとも最低限の活動のみ行うのかなど地区会の存在意義を検討した上で地区会の再編案を作成する必要があると思われる。

・2025年度発足の地区会再編プロジェクトチーム結成に向けて各地区役員がプロジェクトチームメンバー1名を地区役員だけでなく広く信徒全員から選び、2月末までに井川へ推薦の連絡をすること。その候補者の中から5～6名を、英主任司祭、堤小教区評議会議長、井川が選び、3月9日開催の小教区評議会にてプロジェクトチームメンバーの承認を得る。プロジェクトチームは2025年度中に地区会再編案を作成する。

以上

次回 2025年度第1回地区役員会 4月13日(日)11:30より 第1・2会議室



ごミサと映画鑑賞～賢明女子学院の皆さんと一緒に～

## 神戸地区社会活動委員会主催の学習会

映画「壊された5つのカメラ パレスチナ・ビリンの叫び」を上映



神戸地区社会活動委員会主催の学習会で2月2日、六甲カトリック教会が会場となり、映画「壊された5つのカメラ パレスチナ・ビリンの叫び」が上映されました。ヨルダン川西岸のビリン村で暮らすパレスチナ人のイマード（共同監督）が息子の誕生を機に手にしたカメラですが、映したものは次第にパレスチナ人の抵抗運動の現状を映すドキュメンタリーとなり、世界にも広く知られるようになりました。撮影時期は2005年から2009年までのビリン村の人々の記録。5台のカメラはいずれも被弾や暴力で壊されました。ビリン村はガザ地区外の北東に位置し、イスラエル人入植のための土地に鉄フェンスで「分離壁」がはられ、ビリン村を分断。フェンスの東側をパレスチナ自治区とされています。ビリンは、エルサレムやベツレヘムの近くに位置するオリーブ栽培など営む農業の村です。

当日は、賢明女子学院中学校から引率の先生と3年生7人の生徒さんが六甲カトリック教会を訪問してくれました。ごミサにも与り、そのあとに映画鑑賞、感想文をいただきました。いずれも力作で、すべて紹介したいところですが、紙面の都合があり、福本乙葉さんの作文を掲載させていただきました。（写真はパンフレットから）

今日は六甲カトリック教会に手話ミサ、「壊された5つのカメラ」の映画の鑑賞会に参加させていただきました。

手話ミサは初めての体験で、とても興味深かったです。聖堂は神聖、且つ厳かだけでなく、心が温まる場所でした。讃歌とパイプオルガンとのハーモニーがとても綺麗で心に残っています。ミサを通して、教会関連の言葉はこのような手振りで表現することを知り、手話は奥深いなと感じました。何度か祝別は受けたことがあるのですが、違った雰囲気の良い経験になりました。

ビリン村の映画は映像一つ一つが生々しく、子供が何の理由もなく逮捕されたり、無差別に銃で撃たれる映像などが映し出されていました。今まで見たことのある戦争や紛争の映像は殴られたり、血だらけになっていたりする箇所がモザイクで隠されていたり、編集でカットされていることが多いです。しかし、この映像は市民から目線の映像ばかりで、ありのままを描かれていたと思います。夜中に兵士に子供が連れ去られていく姿を見て、親が必死に兵士に訴えている姿。催涙スプレーが噴射され、目の前で銃を構えた兵士に殺される姿。入植者のコンテナを置かせまいと、自らがその建設現場でクレーンで下ろされるコンテナの下に入る人々たち。かつて、パレスチナ人とユダヤ人は地理的にも兄弟のような仲だったのに、どうして争いを続けるのか不思議でたまりませんでした。パレスチナ人の負傷者がイスラエルの病院に運ばれる姿もありました。それはイスラエルの方が医療技術が発達している背景があるからだそうです。怪我をされた人はパレスチナの病院に運ばれていたら自分は死んでいた、と映像の中で話されていました。経済力の違いを感じました。

キリスト教では、その教えで隣人を大切にするように言われているのに、それとは反して戦いを続けていることに矛盾を感じました。目を背けたくても背けられない、これが現実に行っていることを認めたくなかったです。改めて日本は平和の国なのだと再確認しました。映画を鑑賞中、本当に胸が張り裂けそうでした。

本当に学習会に参加して良かったと思います。貴重な経験をありがとうございました。

（賢明女子学院中学校 福本 乙葉）

## 私の好きな聖書のことば



「いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。  
どんなことにも感謝しなさい。」

(テサロニケの信徒への手紙一:5章16節-18節)

ラファエラ 野村 友佳

最初にいつどこで目にしたのか既に覚えてはいないが、私のなかで大切にしたい聖書の言葉のひとつである。よいことがある時も、あまり嬉しくないことが起こる時も、心に置いておきたいと思っている。私自身は弱いので、特に怒りや理不尽な悔しさが広がりそうなときは尚更のことだ。何か起こるときは、神様から何か語りかけられているのだと、この言葉を思い浮かべる。言葉の力は強い。それはよい方にも悪い方にも作用する。

私は日々、聖書の言葉に強められて生きる力をいただく恵みを願い、祈りたいと思う。

## お知らせ フリン神父様のご遺骨が長峰霊園・イエズス会墓地に納骨



フリン神父様 (Robert M. Flynn, S. J.) は2009年2月7日にロヨラハウスで帰天されました。イグナチオ教会で葬儀が行われ、ご遺骨は現在、同教会のクリプタ(地下墓地)に安置されています。

フリン神父様は、六甲学院で約30年間勤務され、17, 23, 29, 35, 41期を担当されました。

この度、担当期生たちの願いが叶い、ご遺骨の一部を六甲の地にお迎えすることが出来ました。2025年2月9日、英神父様の司式で納骨されました。

さらにページをお借りしてフリン先生のエピソードを2つ、以下にご紹介いたします。(福田 信三)



写真左上 在りし日のフリン神父様(1920-2009)。  
写真左下 2月7日の納骨で司式される英主任司祭。  
写真右 オマリー神父様と並んで刻銘。



■フリン先生が1954年に六甲学院に英語教師として赴任された当時、日本の英語教育は文法と作文が基本で、会話学習はありませんでした。これがいまだに日本人は英会話が弱い所以でしょう。そこで先生はミシガン大学が開発したオーラルアプローチという、ほとんど耳と口だけを使って学ぶ方法に基づいた教科書を作られました。それが「プログレス・イン・イングリッシュ」です。赤ん坊が言葉を覚えていく過程と同じで、繰り返し聞いて、話すことで、読み書きはその後です。制作に約18年間かかりましたが、ブック1からブック6まであり、ブック5までマスター出来れば、東大に合格できるレベルなので、ブック6はほとんど使われなかったようです。当時、全国100校くらいの有名校や数10校の学習塾で採用されていました。

■2002年には回顧録「ロバート・フリン～あるカトリック神父の足跡～」が出版されました。267頁の大著で、六甲学院の担当期(5期)と泰星学院(現在の上智福岡中学高等学校)の編集員がまとめ上げました。先生の生い立ちから六甲学院時代、泰星学院時代、津和野教会時代、各種のメッセージなど先生のすべてが分かる本です。回顧録の作成を始めた頃、「回顧録って、その方が亡くなってからの出版物では？」という意見もありましたが、押し切って刊行したのがよかったです。先生への思い、先生からの影響の大きさを感じます。書籍は六甲教会の図書館にあります。

【2025年3月行事予定表】

日	月	火	水	木	金	土
						1
						典礼部会 10:00
2	3	4	5	6	7	8
年間第8主日 手話付きミサ 10:00 祈りと音楽の集い 14:00 ◎日曜班			灰の水曜日 (大斎・小斎) 7:00 10:00 19:00		初金ミサ 7:00 10:30 十字架の道行 10:00	社会活動部 炊き出し 教会学校卒業式・ 終業式・卒業合宿 (～9日)
9	10	11	12	13	14	15
四旬節第1主日 四旬節愛の献金開始 洗礼志願式 10時ミサ中 小教区評議会 11:30					十字架の道行 10:00 ◎灘北1 北・三田	教会学校 春の錬成会 (～16日)
16	17	18	19	20	21	22
四旬節第2主日	日本の信徒 発見の聖母		聖ヨセフ 三日月会 (日帰りバス ツアー)	教会事務室 休み (春分の 日)	十字架の道行 10:00 性虐待被害者 のための祈り と償いの日 ◎灘北2・阪神	
23/30	24/31	25	26	27	28	29日
四旬節第3主日 子どもとともに 捧げるミサ 四旬節第4主日 春の墓参		神のお告げ			十字架の道行 10:00 ◎定期清掃	

◎印は掃除当番地区 (午前7時時点で気象警報が発表された場合は中止)

・教皇3月の祈りの意向は「司祭職や修道生活への召命」です。次のように祈りましょう。  
「危機に瀕する家族関係が壊れてしまった家族が、たとえ違いがあっても、ゆるし合うことで互いの  
賜物を再発見し、傷を癒すことができますように。」

次回4月号の発行は3月29(土)です。  
原稿は毎月15日ごろまでに、教会受付へご持参  
いただくか、FAX、メールでお願いします。  
([renraku@rokko-catholic.jp](mailto:renraku@rokko-catholic.jp))  
皆さまからのご寄稿をお待ちしています。  
・教会SNSチームは、フェイスブック、インスタ  
グラム、X(旧ツイッター)、YouTubeチャンネル  
で配信しています。「六甲カトリック教会」で検  
索してみてください。  
毎月の教会報はホームページではカラーでご覧になれます。

六甲カトリック教会

〒657-0061 神戸市灘区赤松町3-1-21

電話 078-851-2846

FAX 078-851-9023

<http://www.rokko-catholic.jp>

発行責任者 英 隆一朗

編 集 広 報 部